

令和5年度（2023年度）全道地学協働活動研究大会 実施要項

1 趣 旨

国における地方創生の施策の方向性や、第2期北海道創生総合戦略、北海道総合教育大綱、北海道教育推進計画を踏まえ、地方創生に向けた高等学校の果たす役割やコンソーシアムの構築に係る研究実践の発表及び協議を行い、北海道CLASSプロジェクトの研究成果の共有を図る。

2 主 催

北海道教育委員会（生涯学習推進局社会教育課）

3 期 日

令和5年（2023年）11月16日（木） 9：30～12：00

4 実施方法

オンライン開催（Zoom）

5 参加対象

教職員、学校教育関係者、社会教育関係者、地域と学校の協働に携わる方

6 日 程

9:00	9:30	9:35	9:45	10:25	10:30	11:45	12:00	
受付	(1) 開会	(2) 説明	推進校 部会	(3) 事例発表 10分×4校	休 憩	(4) トークセッション	質疑 応答	(5) 閉会
			連携校 部会	(3) 事例発表 10分×4校	休 憩	(4) トークセッション	質疑 応答	

(1) 開 会

(2) 説 明 北海道における地学協働の取組について

説明者 北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課課長補佐 五十嵐 秀 介

-----希望する部会に分かれて実施（各部会のブレイクアウトルームで実施）-----

【推進校部会】CLASSプロジェクト推進校（当別高等学校、白老東高等学校、上富良野高等学校、帯広三条高等学校）による3年間の地学協働体制の構築等の取組について理解を深める

【連携校部会】CLASSプロジェクト連携校（夕張高等学校、鶴川高等学校、豊富高等学校、本別高等学校）による地学協働の先進的な取組について理解を深める

(3) 事例発表 高等学校で取り組む地学協働活動

発表者 推進校部会：北海道CLASSプロジェクト推進校とコーディネーター

連携校部会：北海道CLASSプロジェクト連携校とコーディネーター

内 容 推進校部会：体制・活動の概要、成果と課題（生徒・学校・地域等の変容）

連携校部会：高校生×地方創生の取組、成果と課題（生徒・学校・地域等の変容）

(4) トークセッション 地学協働活動の実際（申込時の質問もここで解決）

進 行 推進校部会：北海道地学協働アドバイザー 森 敏隆 氏

連携校部会：北海道地学協働アドバイザー 青田 基 氏

スピーカー 推進校部会：推進校関係者・コーディネーター

連携校部会：連携校関係者・コーディネーター

内 容 ・体制構築や活動推進の流れ、ポイント

・地学協働活動の効果・成果・生徒の変容・学校の意識変容・地域の変容

・申込時に事前に出ていた質問等の話題

・質疑応答

-----メインセッションに集合-----

(5) 閉 会

7 申込方法

(1) 右の二次元バーコードから申込みしてください。

※申込期限：令和5年11月6日（月）17時必着

(2) 複数端末で参加する場合、端末ごとに申込みしてください。



申込二次元バーコード

8 その他

(1) 本大会参加するための場所、機材等については各自で御用意ください。

(2) 当日のzoomに係るID等については、お申込みいただいた方にメールでお知らせします。開催1週間前までにメールが届かない場合は、申込みが受理されていない可能性がありますので、お手数ですが、下記問合せ先まで御連絡ください。

(3) 当日の様子は、道教委ホームページに掲載することや報道機関に提供する場合があります。

【申込み・問合せ先】 北海道教育庁生涯学習推進局社会教育課地学協働推進係 担当:国枝
電 話 011-204-5744(直通) Mail:kunieda.satoru@pref.hokkaido.lg.jp